

令和2年度 唐津市立簗木小学校 研究構想図



学校教育目標

自ら気づく、考えて動く子どもの育成

- 自分に自信が持てる子どもの育成【自己肯定感】
- 様々な教育活動を通じた、自己決定する場の設定(授業改善・生徒指導・行事)【自己決定】
- 徳・知・体のバランスよい育成【三位一体】

太郎は太郎、花子は花子になれ ～より自分らしく～

研究主題

主体的に考え、判断し、行動する子どもの育成

～資質・能力育成を目指した教科横断型カリキュラム・マネジメントを通して～

研究仮説

合科的・関連的単元を構想し、学んだ各教科の知識・技能や見方・考え方を効果的に活用する授業ができれば、児童の進んで学び続ける力と、自らの考えを広げ深める力を育成することができるであろう。

本校児童に必要な
資質・能力

進んで学び続ける力 自ら考えを広げ深める力

教科横断型カリキュラムによる授業改善

合科・関連的単元構想で
知識・見方・考え方を汎用的に働かせる

つかむ

- ・課題設定
- ・学習計画立て
- ・情報収集
- ・自分の考えの形成

つなぐ

- ・関連付ける
(各教科の知識・技能
見方・考え方・経験)
- ・対話(ペア・GW・CW
・地域人材と)

ひらく

- ・整理・分析
- ・表現・評価・発信
- ・次の学習活動

「レインボータイム」における
言語能力・情報活用能力の育成

- ・生活をよりよくするための課題を見出す
- ・対話力
- ・解決するための合意形成を図り、実践
- ・役割を自覚しながら協力
- ・目的意識・相手意識をもって発信する力(他学年・家庭・地域)
- ・キャリア教育
(キャリアパスポートの活用)
- ・学んだことを次の問題解決・実生活に活かす

特別活動・学校行事で
教科の学びを活用・発揮する

研究組織

学びづくり部

- 教科横断的な視点で各教科の指導内容の体系化
 - ・合科・関連的単元構想をふまえたカリキュラム作り
- 学びを総合的に活用・発揮させる授業実践と検証
 - ・レインボータイムの実践
 - ・児童意識調査の分析

心づくり部

- 学びと主体性の発揮を支える特別活動・行事の工夫と検証
 - ・縦割り班活動(教えあい・学びなおし)
 - ・児童実行委員会・児童司会による行事運営
- キャリアパスポートの活用と分析(低・中・高学年用作成)

環境づくり部

- 児童の学びを可視化し、次の学びへつなげる環境づくり
 - ・児童が自ら振り返り価値づけした学びの成果物の掲示
 - ・児童の生活時間改善や家庭学習習慣作りへの取り組み
- 地域・保護者への情報発信